

参考引用文献一覧

【邦文図書・資料】

- 綾部恒雄 (2006) 「エスニシティ論」、綾部恒雄編『文化人類学 20 の理論』pp.179-196、弘文堂
- アレント、ハンナ (1994) 志水速雄訳『人間の条件』筑摩書房
- アンダーソン、ベネディクト (2007) 白石隆・白石さや訳『定本 想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』書籍工房早山
- イ・ヨンスク (1996) 『『国語』という思想 近代日本の言語認識』岩波書店
- (2007) 『異邦の記憶—故郷・国家・自由』晶文社
- (2009) 『「ことば」という幻影—近代日本の言語イデオロギー』明石書店
- 伊ヶ崎泰枝 (2007) 「言語と教授法 —フランス語教育と日本語教育の場合—」『広島大学フランス文学研究 Vol.26』広島大学
- 今福龍太 (2003) 『クレオール主義』筑摩書房
- 入江 昭 (2000) 『二十世紀の戦争と平和[増補版]』東京大学出版会
- ウォーフ、B. L. (1993) 池上嘉彦訳『言語・思考・現実』講談社
- 梅棹忠夫 (1987) 『あすの日本語のために』くもん出版
- (2004) 『日本語の将来 ローマ字表記で国際化を』日本放送出版協会
- エリクソン、E.H. (1973) 岩瀬庸理訳『アイデンティティ 青年と危機』金沢文庫
- 岡戸浩子 (2002) 『「グローバル化」時代の言語教育政策』くろしお出版
- 小熊英二 (1997) 「日本への道—台湾統治初期の言語政策論—」田中克彦・山脇直司・糟谷啓介編『言語・国家・そして権力』pp.145-163、新世社
- 甲斐睦朗 (2006a) 「終戦直後の国語国字問題 第二十六回 志賀直哉の「国語問題」(上)」『日本語学 第 27 号巻 7 号』pp.60-67、明治書院
- (2006b) 「終戦直後の国語国字問題 第二十七回 志賀直哉の「国語問題」(中)」『日本語学 第 27 号巻 8 号』pp.62-68、明治書院
- (2006c) 「終戦直後の国語国字問題 第二十八回 志賀直哉の「国語問題」(下)」『日本語学 第 27 号巻 9 号』pp.76-83、明治書院
- (2006d) 「終戦直後の国語国字問題 第二十九回 国立国語研究所の創設 (上) —国会の議事録を読む—」『日本語学 第 27 号巻 10 号』pp.74-80、明治書院
- (2006e) 「終戦直後の国語国字問題 第三十回 国立国語研究所の創設 (中) —国会の議事録を読む—」『日本語学 第 27 号巻 12 号』pp.66-72、明治書院
- (2006f) 「終戦直後の国語国字問題 最終回 国立国語研究所の創設 (下) —国会の議事録を読む—」『日本語学 第 27 号巻 13 号』pp.54-61、明治書院
- 海外日本語普及総合調査会 (1997) 「海外における日本語普及事業の抜本的対応について(答申)」国際交流基金

- 外国人労働者問題関係省庁連絡会議（2006）「生活者としての外国人」に関する総合的対策」
- 外務省（1970）外務省文化事業部調査・編『世界の日本語教育機関一覧』
- 嘉数勝美（2002）「国際化推進と英語教育推進についての一考察 —オーストラリアの言語教育政策プログラム LOTE, NALSAS からの示唆—」言語文化教育研究論集編集委員会編・森住衛監修『言語文化教育学の可能性を求めて—言語文化教育研究論集』pp.168-185、三省堂
- （2005）「日本語教育スタンダードの構築 —第1回国際ラウンドテーブルの成果から—」国際交流基金『遠近 第6号』pp.36-41、山川出版社
- （2006a）「マールーフ研究序論—そのオーストラリアン・アイデンティティの形成と変容—」仙葉豊・高岡幸一・細谷行輝共編『言語と文化の饗宴』pp.231-246、英宝社
- （2006b）「ヨーロッパの統合と日本語教育—CEF（「ヨーロッパ言語教育共通参照枠」）をめぐる—」『日本語学 第25巻第13号』pp.46-58、明治書院
- （2006c）「国際交流基金海外日本語教育機関調査」から見た日本語教育の推移」国立国語研究所編『日本語教育年鑑 2006年版』pp.58-68、くろしお出版
- （2008）「ヨーロッパ言語共通参照枠組み（CEFR）と日本語教育—アイデンティティとユニバーサリティをめぐる—」明海大学大学院応用言語学研究科紀要『応用言語学研究 No. 10』pp.9-16、明海大学
- （2009a）「生活者への日本語教育と国際交流基金」田尻英三編『日本語教育政策ウォッチ 2008』pp.70-87、ひつじ書房
- （2009b）「グローバル化時代の日本語教育 —アイデンティティとユニバーサリティを中心に」水谷修監修・野山広・石井恵理子編『日本語教育の過去・現在・未来 第1巻 社会』pp.57-77、凡人社
- 糟谷啓介（1997）「一般文法の政治学」田中克彦・山脇直司・糟谷啓介編『言語・国家・そして権力』pp.21-46、新世社
- 加藤秀俊（2000）「四つの自由化—「日本語新時代」をむかえて」加藤秀俊監修『日本語の開国』pp.10-33、TBS ブリタニカ
- （2004）『多文化共生のジレンマ グローバリゼーションのなかの日本』明石書店
- カミンズ、ジム／ダシネ、マルセル（2005）中島和子、高垣俊之訳『カナダの継承語教育—多文化・多言語主義をめざして—』明石書店
- 亀井進久（2008）「外国人労働者問題の諸相—日系ブラジル人労働者の雇用問題と研修・技能実習制度を中心に—」pp.19-39、農林環境調査室レファレンス 2008.4
http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/refer/200804_687/068702.pdf
- カルヴェ、ルイ＝ジャン（2000）西山教行訳『言語政策とは何か』白水社

- 河原俊昭 (2007) 「外国人住民への言語サービスとはく外国人住民との共生社会をめざして」河原俊昭・野山広編著『外国人住民への言語サービス 地域社会・自治体は多言語社会をどう迎えるか』pp.10-27、明石書店
- ギデンス、アンソニー (2001) 佐和隆光訳『暴走する世界 ―グローバルゼーションは何をどう変えるのか―』ダイヤモンド社
- 木村和男 (1997) 「多文化主義宣言への道―連邦結成後の移民政策を中心に」西川長夫・渡辺公三・ガバン・マコーマック編『多文化主義・多言語主義の現在 カナダ・オーストラリア・そして日本』pp.55-74、人文書院
- 木村護郎クリストフ (2005) 「言語政策研究の言語観を問う―一言語計画／言語態度の二分法から言語管理の理論へ―」『言語政策 1』pp.1-13、日本言語政策学会
- キーン、ドナルド (2000) 『日本語の美』中央公論新社
- 熊谷明泰 (1997) 「朝鮮語ナショナリズムと日本語」田中克彦・山脇直司・糟谷啓介編『言語・国家・そして権力』pp.164-193、新世社
- クラムシュ、クレア(2007) 「異文化リテラシーとコミュニケーション能力」佐々木倫子・細川英雄・砂川祐一・川上郁雄・門倉正美・牲川波都季編『変貌する言語教育 多言語・多文化社会のリテラシーズとは何か』pp.2-26、くろしお出版
- クリスタル、デイヴィッド (1992) 風間喜代三・長谷川欣佑監訳『言語学百科事典』大修館書店
- 桑山敬己 (2006) 「民族誌論」、綾部恒雄編『文化人類学 20 の理論』pp.320-337、弘文堂
- ゲルナー、アーネスト (2000) 加藤節監訳『民族とナショナリズム』岩波書店
- 国語学会 (2009) 「国語学会の成立とその使命」<http://www.soc.nii.ac.jp/ipling/simei.html>
- 国際交流基金 (1975) 『海外日本語教育機関一覧(昭和 50 年)』
- 国際交流基金 (1981) 『海外日本語教育機関一覧(昭和 56 年度版)』
- 国際交流基金 (1986) 「国際化する日本語の座標軸」『国際交流 第 41 号』pp.2-29、国際交流基金
- 国際交流基金 (1987) 『海外日本語教育機関一覧』凡人社
- 国際交流基金 (1992) 『海外の日本語教育の現状＝海外日本語教育機関調査・1990 年＝』大蔵省印刷局
- 国際交流基金 (1995) 『海外の日本語教育の現状＝海外日本語教育機関調査・1993 年＝』大蔵省印刷局
- 国際交流基金 (2000) 『海外の日本語教育の現状＝海外日本語教育機関調査・1998 年＝』大蔵省印刷局
- 国際交流基金 (2005) 『海外の日本語教育の現状＝海外日本語教育機関調査・2003 年＝』凡人社
- 国際交流基金 (2008) 『海外の日本語教育の現状＝海外日本語教育機関調査・2006 年＝』凡人社

- 国際交流基金（2009）『JF 日本語教育スタンダード 試行版』国際交流基金
- 国際文化フォーラム（1990）『日本語教育—その成長と悩み 海外日本語教育機関の動向・1988年』
- 国連開発計画（1999）『グローバリゼーションと人間開発』国際協力出版会・古今書院
- 齋藤純一（2000）『公共性』岩波書店
- 佐々木倫子・細川英雄・砂川祐一・川上郁雄・門倉正美・牲川波都季編（2007）『変貌する言語教育 多言語・多文化社会のリテラシーズとは何か』くろしお出版
- 佐治圭三（1991）「戦後中国の日本語教育」木村宗男編『講座日本語と日本語教育 15 日本語教育の歴史』pp.374-397、明治書院
- サピア、エドワード（1998）安藤貞雄訳『言語—ことばの研究序説—』岩波書店
- ザラト、ジュヌヴィエーヴ（2007）「文化リテラシー」とは何か」佐々木倫子・細川英雄・砂川祐一・川上郁雄・門倉正美・牲川波都季編『変貌する言語教育 多言語・多文化社会のリテラシーズとは何か』pp.116-140、くろしお出版
- 芝崎厚士（2007）「国際文化交流としての言語教育事業—日本における各国文化機関の活動から—」国際交流基金『遠近 第16号』pp.32-37、山川出版社
- 嶋津 拓（2004）『オーストラリアの日本語教育と日本の対オーストラリア日本語普及—その「政策」の戦間期における動向—』ひつじ書房
- （2008）『海外の「日本語学習熱」と日本』三元社
- 自由民主党・外国人材交流推進議員連盟（2008）「人材開国！日本型移民政策の提言 世界の若者が移住したいと憧れる国の構築に向けて=中間とりまとめ（案）=」
- ショダンソン、ロベール（2000）糟谷啓介／田中克彦訳『クレオール語』白水社
- 新村 出編（1998）『広辞苑 第五版』岩波書店
- 鈴木孝夫（1990）『日本語と外国語』岩波書店
- （1995）『日本語は国際語になりうるか 対外言語戦略論』講談社
- （1998）『鈴木孝夫 言語文化学ノート』大修館書店
- （2005）「日本の対外言語政策の目的と課題」『言語政策 1』pp.147-167、日本語政策学会
- セン、アマーティア（1999）「人間開発の評価」国連開発計画『グローバリゼーションと人間開発』p.29、国際協力出版会・古今書院
- センプリーニ、アンドレア（2003）三浦信孝・長谷川秀樹訳『多文化主義とは何か』白水社
- 田尻英三編（2009）『日本語教育政策ウォッチ 2008』ひつじ書房
- 田中克彦（1981）『ことばと国家』岩波書店
- （1991）『言語からみた民族と国家』岩波書店
- （1993）『言語学とは何か』岩波書店
- （2007）『エスペラント—異端の言語』岩波書店

- 多仁安代 (2000) 『大東亜共栄圏と日本語』 勁草書房
- 中央教育審議会編 (1974) 「教育・学術・文化における国際交流について (答申)」 文部省
東海大学日本語文学系 2008 年国際シンポジウム『ことば・ひと・越境』【背景と開催の意義】 p.2、<http://www2.thu.edu.tw/~japan/jap/study/symposium/2008/2008THU.pdf>
- トラッドギル、P. (1975) 土田滋訳 『言語と社会』 岩波書店
- ナイ・ジュニア、ジョゼフ・S (2003) 田中明彦／村田晃嗣訳 『国際紛争—理論と歴史家[原書第4版]』 有斐閣
- 中嶋嶺雄 (1992) 『国際関係論 同時代史への羅針盤』 中央公論社
- 西川長夫 (2001) 『増補 国境の越え方 国民国家論序説』 平凡社
- 西川長夫・渡辺公三・ガバン・マコーマック編 (1997) 『多文化主義・多言語主義の現在 カナダ・オーストラリア・そして日本』 人文書院
- 日本語教育懇談会 (2007) 「今こそ、世界に開かれた日本語を一教育、普及体制の強化を訴える」 国際交流基金
- 日本語普及総合推進調査会 (1985) 「海外における日本語普及の抜本的対応策について (答申)」 国際交流基金
- ネウストプニー、J.V. (1982) 『外国人とのコミュニケーション』 岩波書店
- 野村甚三郎 (2008) 『国境とは何か 領土・制度・アイデンティティ』 芙蓉書房出版
- 野元菊雄 (1978) 『日本人と日本語』 筑摩書房
- (2000) 「日本語改革の思想史」 加藤秀俊監修 『日本語の開国』 pp.34-54 TBSブリタニカ
- 野山 広 (2005) 「多文化共生社会に対応した外国人受入れ施策や言語教育政策の在り方に関する一考察—諸外国の受入れ施策や言語教育施策を事例として」 『言語政策 1』 pp.37-62、日本言語政策学会
- (2007) 「日本の言語政策と多文化共生社会—諸外国の受入れ政策や言語政策との比較を通して—」 山本忠行・河原俊昭編著 『世界の言語政策 第2集 多言語社会に備えて』 pp.29-58、くろしお出版
- 長谷川恒雄・平高史也 (1991) 「日本語教育史年表」 木村宗男編 『講座日本語と日本語教育 15 日本語教育の歴史』 pp.440-466、明治書院
- ハーバーマス、ユルゲン (2004) ・高野昌行訳 『他者の受容 多文化社会の政治理論に関する研究』 法政大学出版会
- (2007) ・細谷貞雄・山田正行訳 『公共性の構造転換 市民社会の一カテゴリーについての探究』 未来社
- 林 正寛 (1997) 「台湾の多言語状況と近代日本」 田中克彦・山脇直司・糟谷啓介編 『言語・国家・そして権力』 pp.131-144、新世社
- 原 聖 (2007) 「多言語社会論の意義と課題」 『言語政策 3』 pp.107-123、日本言語政策学会

- 原土 洋 (1991) 「戦後台湾の日本語教育」木村宗男編『講座日本語と日本語教育 15 日本語教育の歴史』pp.398-408、明治書院
- 春原憲一郎 (2007) 「安全な下降のための言語事業設計試論」『言語政策 3』pp.1-17、日本言語政策学会
- パウル、ヘルマン (1993) 福本喜之助訳『新装版 言語史原理』講談社
- 平高史也 (1997) 「政治家の言説」『NAFL 選書 13 日本語教育史 第 6 章言語政策から見た日本語教育史』pp.184-187、アルク
- (2006) 「言語政策としての日本語教育スタンダード」『日本語学 第 25 巻第 13 号』pp.6-17、明治書院
- 平野健一郎 (2000) 『国際文化論』東京大学出版会
- ビュルネー、ピエール・(1964) 和田祐一訳『国際語概説』白水社
- フィンリースン、ジェームズ・ゴードン (2007) 村岡晋一訳『ハーバーマス』岩波書店
- 福田耕治 (2005) 『国際行政学 国際公益と国際公共政策』有斐閣
- ベーカー、コリン (1996) 岡秀夫訳・編『バイリンガル教育と第二言語習得』大修館書店
- ベネディクト、ルース (2005) 長谷川松治訳『菊と刀 日本文化の型』講談社
- 細川英雄 (2006) 「日本語教育クレオール試論」『早稲田大学日本語教育研究』早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 細見和之 (1999) 『アイデンティティ／他者性』岩波書店
- マツモト、D. (2001) 南雅彦・佐藤公代監訳『文化と心理学—比較文化心理学入門』北大路書房
- マルティニエッロ、マルコ (2002) 宮島喬訳『エスニシティの社会学』白水社
- 丸谷オー・山崎正和 (2002) 『日本語の 21 世紀のために』文藝春秋
- 水村美苗 (2008) 『日本語が亡びるとき—英語の世紀の中で』筑摩書房
- 宮島達夫 (1999) 「言語政策史研究」『社会言語科学 第 2 巻第 1 号』pp.82-88
- 森田芳夫 (1991) 「戦後韓国の日本語教育」木村宗男編『講座日本語と日本語教育 15 日本語教育の歴史』pp.409-424、明治書院
- 安井 綾・平高史也 (2005) 総合政策学ワーキングペーパーシリーズ「「ヒューマンセキュリティの基盤」としての言語政策」慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
- 安田敏朗 (2006) 『『国語』の近代史 帝国日本と国語学者たち』中央公論新社
- 山田富秋 (1999) 「エスノメソドロジーから見た「言語問題」」『社会言語科学 第 2 巻第 1 号』pp.59-69
- 吉川 宏 (2008) 『国民国家システムの変容—トランスナショナル化した世界—』学術出版会
- 吉島 茂／大橋理枝 (他) 訳・編 (2004) 『外国語教育Ⅱ—外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠—』朝日出版社
- 吉島 茂 (2007) 「ヨーロッパの外国語教育を教育観・言語政策から見る」『言語政策 3』

- pp.61-81、日本言語政策学会
- 米山リサ (2006) 「多文化主義論」、綾部恒雄編『文化人類学 20 の理論』 pp.302-319、弘文堂
- ヨーロッパ日本語教師会・国際交流基金 (2005) 『ヨーロッパにおける日本語教育と Common European Framework of Reference for Languages』 国際交流基金
- リトル、I.M.D. (2004) 松本保美訳『公共政策の基礎』 木鐸社
- J.リチャーズ/J.プラット/H.ウェーバー編・山崎真稔/高橋貞雄/佐藤久美子/日野信行共訳 (1994) 『ロングマン応用言語学用語辞典』 南雲堂
- ロビアンコ、ジョセフ (2007) 「新時代、世界の子どもたち、第三の場所」 佐々木倫子・細川英雄・砂川祐一・川上郁雄・門倉正美・牲川波都季編『変貌する言語教育 多言語・多文化社会のリテラシーズとは何か』 pp.56-84、くろしお出版

- Anderson, B. (1983), *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*, Verso, New York
- Beacco, J-C., Chiss, J-L., Cicurel, F., Véronique, D. (2005), *Les cultures éducatives et linguistiques dans l'enseignement des langues*, Press Universitaires de France, Paris
- Blainey, G. (2000), *A Shorter History of Australia*, A Vintage Book, Sydney
- Bose, M. (1997), *Introduction, Sir Thomas More Utopia*, pp. vii-xiv, Wordsworth Classics of World Literature, Heatfordshire
- Byram, M. and Fleming, M (1998), *Language Learning in Intercultural Perspective: Approaches through drama and ethnography*, Cambridge University Press, Cambridge
- Chomsky, N. (2000), *New Horizons in the Study of Language and Mind*, Cambridge University Press, Cambridge
- Conseil de l'Europe(2001), *Les langues vivantes au Conseil de l'Europe 1954-1997*, Strasbourg
- Council of Europe (2001) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*, Cambridge University Press, Cambridge
- Crystal, D. (1997), *English as a global language*, Cambridge University Press, Cambridge
- (2000), *Language Death*, Cambridge University Press, Cambridge
- Gellner, E. (1998), *Language and Solitude, Wittgenstein, Malinowski and the Habsburg Dilemma*, Cambridge University Press, Cambridge
- Gouiller, F. (2006), *Les Outils du Conseil de l'Europe en Classe de Langue – Cadre européen commun et Portfolios*, Didier, Paris
- Hirsch, Jr., E.D. (1988), *Cultural Literacy What Every American Needs to Know*, Vintage Books, A Division of Random House, New York
- Huntington, S. P. (1996), *The Clash of Civilizations and The Remaking of World Order*, George Borchardt, Inc., New York
- Kaplan, R. & Baldauf Jr., R (1997) *Language Planning, From Practice to Theory*, Multilingual Matters Ltd.
- Kipling, R. (1992), *Rudyard Kipling Selected Poetry*, p.101, The Penguin Poetry Library, Middlesex
- Kramsch, C. (1998), *Language and Culture*, Oxford University Press, Oxford
- Kymlicka, W. (1995), *Multicultural Citizenship, A Liberal Theory of Minority Rights*, Clarendon Press, Oxford
- Lo Bianco, J. (1987), *National Policy on Languages*, Australian Government Publishing

- Services, Canberra
- Lo Bianco, J. Liddicoat, A. Crozet, C. eds. (1999), *Striving for the Third Place: Intercultural Competence through Language Education*, Language Australia Ltd., Melbourne
- Marchall, G. (1990), *The Oxford Concise Dictionary of Sociology*, Oxford University Press, New York
- McArthur, T. (1998), *The English Languages*, Cambridge University Press, Cambridge
- Steger, M. B. (2003), *Globalization A Very Short Introduction*, Oxford University Press, New York
- Tollefson, J. W. (1991), *Planning language, planning inequality: Language policy in the community*, Longman Group Limited, Essex
- Trudgill, P. (1974), *Sociolinguistics: An Introduction to Language and Society*, Penguin Books, London
- Vallejo-Gomez, N. (2006), *Europe, une identité kaléidoscope, Plaidoyer pour une dé-nationalisation de la Nation*, Synergies Europe n° 1, La richesse de la diversité: recherches et réflexions dans l'Europe des langues et des cultures, Revue de GERFLINT, Grenoble
- Wardhaugh, R. (1992), *An Introduction to Sociolinguistics: Second Edition*, Blackwell Publisher, Oxford
- (1993), *Investing Language. Central Problems in Linguistics*, Blackwell Publisher, Oxford
- Yule, G. (1985), *The study of language, Second edition*, Cambridge University Press, Cambridge